

# 街灯の新設及び補充の 考えは



松元広一郎議員

平成六年度から三カ年計画で、町内の集落内道路や主要幹線道路、公共施設などに一千七基の街灯が設置してあり、町民から大変喜ばれている。しかし、計画終了後、町民から設置の要望が担当課にあっても増設されていない。

野方地区の佐土原集落から、大崎第一中学校を通り農協スタンドへ出る道路や角堂集落三文字から野方小学校を通り国道を通る町道などの通学路や学校周辺で設置していないところがあり、防犯の面からも早急に設置が

必要と思われる。街灯問題を見直し、検討する時期にきていると思うが、町長の考えは。

**集落外の設置は十分検討する。**

**町長**

平成六年度に四百四十三灯、平成七年度に五百一灯、平成八年度に七十三灯を設置し、安全で住みよい町づくりを図ってきた。

この事業は、当初から三カ年を限度に実施して

きたので、事業完了後は、一基も設置していない。今回座談会を実施して、街路灯設置の要望が二、三あったが、その場では即答していない。しかし、時代の移り変わりや座談会での要望も無視できない。集落内の設置は行わないが、通学路や集落外の設置の是非については、今後十分検討していく価値があると思う。



角堂集落三文字から野方小学校への通学路

佐土原集落から大崎第一中学校への通学路

